

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社クボタ堺製造所 B-7棟	階数	地上6F、塔屋1F
建設地	大阪府堺市堺区石津北町64番地	構造	SRC造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	550 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年5月8日
敷地面積	136,593 m ²	作成者	株式会社 大建設計 菅野尚教
建築面積	2,045 m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	10,383 m ²	確認者	株式会社 大建設計 菅野尚教



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本計画は大敷地の中の前面道路に面した一角の増築であるが将来の施設の更新も視野に入れ、外観デザインや緑化計画等周辺の景観に配慮した計画とした。外観デザインについては、環境に配慮する企業イメージの発信とともに、積極的な緑化を行い、周辺環境と馴染んだ建物となるよう十分配慮した。		建築主の企業理念を反映した外観デザインや先進的な居住空間等とすることで、建物自体の耐久性のみならず、機能的・社会的に持続可能性の高い建物となるよう配慮した。
Q1 室内環境 建物の用途を勘案し、外壁や間仕切りの遮音性を高く設定することで、各居室で良好な居住環境を確保できるよう配慮した。また隣地建物との離隔距離を十分確保し、建物の外周には極力開口部を設けることで、積極的	Q2 サービス性能 建物の居室については、大空間となるものが多いため、適切な天井高さを設定し、閉塞感のない良好な居住空間となるよう配慮した。また内装計画はメンテナンス性、更新性に配慮し、極力清掃しやすく、防汚性に優れた仕	Q3 室外環境(敷地内) 建物外壁面を前面道路から後退させるとともに、5・6階をセットバックする形状とする前面道路に対して圧迫感のない景観の形成を図った。また周辺環境に馴染んだ素材の外観デザインや、前面道路に対して緑化計画を行う
LR1 エネルギー 建物のエネルギー消費量の目標値を設定し、利用者が意識を持って省エネに努めることで、地球環境にやさしい施設運営を行う計画とした。	LR2 資源・マテリアル 建物に使用する資材の一部にリサイクル材料を用いることで、環境資源の有効活用に配慮する計画とした。また極力汚染物質を含まない材料を用いることで、安心安全に建物を利用できるよう配慮した。	LR3 敷地外環境 建物の屋上及び4階に緑化を行い、植物による蒸散効果や緑化による断熱効果を活用することで、地球温暖化に配慮する計画とした。また太陽光パネルを設置し、積極的に自然エネルギーを活用する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	株式会社クボタ堺製造所 B-7棟	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区石津北町64番地	1.7	A
	主用途/延床面積	工場 / 10,383.41 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO₂削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.7	4
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	4.5		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0		
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	4	
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0		
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	5.0		
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0		

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	